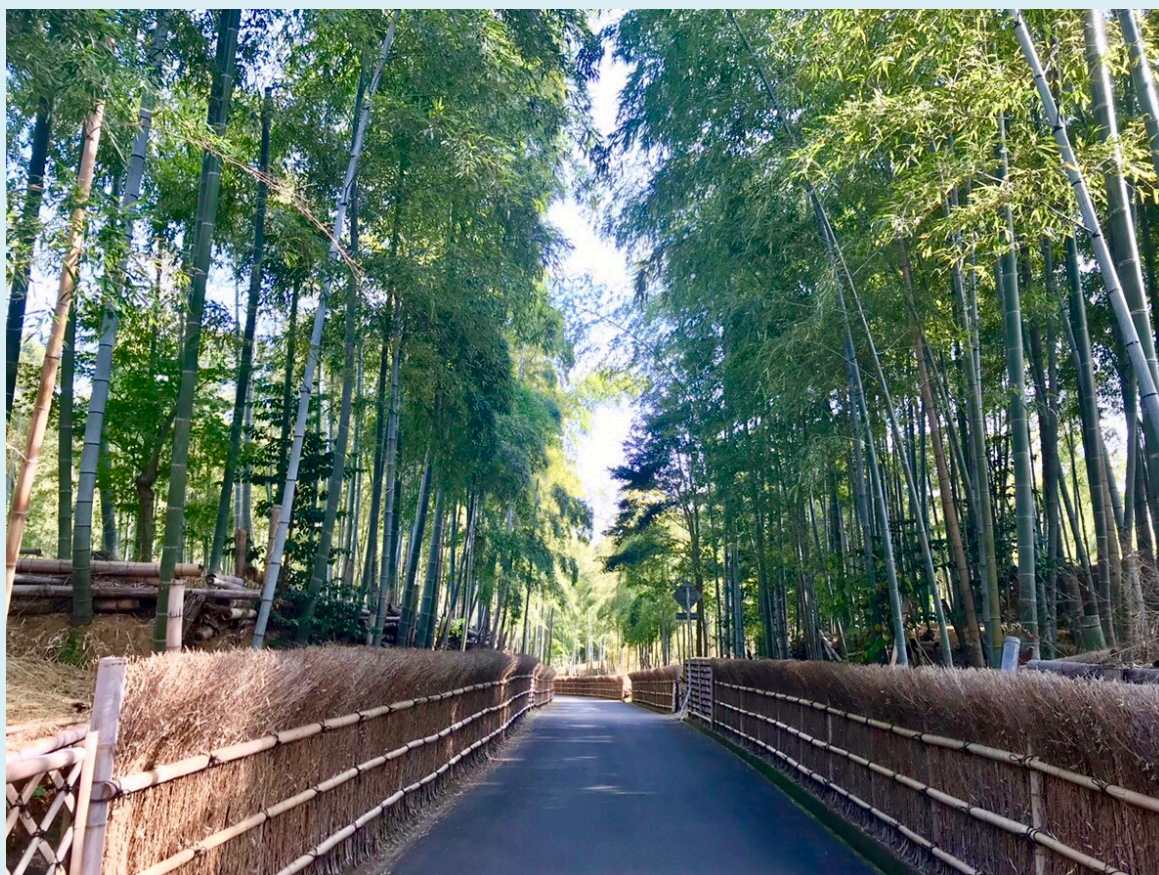


行政相談委員機関誌  
第48号 令和元年8月

# 京 都



総務省 京都行政監視行政相談センター

〈 表 紙 の 写 真 〉

## 向日市 竹の径

良質な筍の産地である向日市の北西部に広がる竹林道。景観保全や観光資源創造を目的として、平成12年度から整備が開始され、現在では全長1.8kmに及ぶ。竹の枝を約1.5メートルの高さで束ねて並べた「竹穂垣」のほか、古墳の形を表現した「古墳垣」、かぐや姫の十二単衣の襟元をイメージした「かぐや垣」など、計8種類の竹垣によって構成されている。

過去には、国土交通省の「手づくり郷土賞」や日本ウォーキング協会の「美しい日本の歩きたくなる道500選」に選ばれている。

撮影：京都行政監視行政相談センター

# — 目 次 —

☆刊行に寄せて	京都行政監視行政相談センター所長	廣田 博一	・ ・ ・ ・ 1
	近畿管区行政評価局調査分析専門官	西川 八郎	・ ・ ・ ・ 3
	京都行政相談委員協議会会長	藤井 恒子	・ ・ ・ ・ 5
☆新任行政相談委員の紹介			・ ・ ・ ・ 7
☆令和元年度表彰等受賞委員の紹介			・ ・ ・ ・ 23
☆受賞委員の声	京都市左京区	佐々木 茂子	・ ・ ・ ・ 25
	京都市伏見区	田中 祐考	・ ・ ・ ・ 26
	向日市	本井 美知子	・ ・ ・ ・ 27
	木津川市	松井 康次	・ ・ ・ ・ 28
	宮津市	山口 栄	・ ・ ・ ・ 30
	京都市下京区	酒井 剛	・ ・ ・ ・ 31
	大山崎町	寺嶋 敦子	・ ・ ・ ・ 32
	大山崎町	中西 晴子	・ ・ ・ ・ 34
	京都市山科区	鹿田 治男	・ ・ ・ ・ 36
	京都市右京区	澤田 勉	・ ・ ・ ・ 37
	南丹市	日下部 純子	・ ・ ・ ・ 38
	京都市伏見区	塩尻 マユミ	・ ・ ・ ・ 39
☆特別寄稿	京都市西京区	阿蘇 和代	・ ・ ・ ・ 40
☆退任行政相談委員の声			・ ・ ・ ・ 41
☆平成 30 年度の年間行事・委員活動			・ ・ ・ ・ 52
☆委員処理事案			・ ・ ・ ・ 56
☆センター職員の声			・ ・ ・ ・ 61
☆編集後記			

## - 刊行に寄せて -

### 再び京都での勤務となりました

京都行政監視行政相談センター所長 廣田 博一



行政相談委員の皆様、こんにちは。日頃から行政相談活動にご尽力いただきありがとうございます。

4月1日付けで京都行政監視行政相談センター所長を拝命しました廣田です。早いものです。すでに5か月が過ぎようとしています。

本年度は、委嘱更新の年に当たり、京都では84名の行政相談委員のうち、4分の1に当たる21名の方々が交代することとなりました。中には20年以上活動いただいた方も複数おられ、これまでのご活躍に深く感謝申し上げます。これらの方々には、4月以降総務大臣からの感謝状等を直接お渡しいたしました。また、新たに行政相談委員をお引き受けいただいた皆様には、これからどうぞよろしくをお願いいたします。

さて、実は、私の京都勤務は今回で2回目です。前回は、平成16年から3年間、京都行政評価事務所に勤務しておりました。

この間、組織変更により、「行政評価事務所」の名称は、行政相談の名称を冠した「行政監視行政相談センター」となり、所在地も烏丸御池から円町へと移転しています。

当時私は、京都でも開催されていた「京都行政苦情救済推進会議」（現在は近畿管区行政評価局に集約）を中心に担当しておりました。当時の座長は、服飾評論家の市田ひろみさん、他のメンバーも「上方芸能」の木津川計さんはじめそうそうたる顔ぶれでした。行政苦情救済推進会議は、行政制度や行政運営の基本に係る苦情事案で他の住民にも広がりを持つ事案について、民間有識者の意見を反映させることにより、的確かつ効率的な処理を推進するものです。

当時私が担当した事案のひとつについて簡単に紹介させていただきます。

申出は、ある女性からで、「現在求職活動中であり、これまでハローワークで紹介してもらった何社かの事業所に応募し、履歴書を提出したが、事業所の中には不採用になっても履歴書を返却してくれず、個人情報漏洩



が心配である。」というものでした。推進会議での審議の結果、提出された履歴書の厳重管理を行うことはもちろんであるが、不採用となった者の履歴書は、事業所にとって不要となるはずであり返却することが望ましく、また、申出人以外の求職者全般に係る問題であることから、京都労働局に対し「不採用求職者の履歴書の本人への返却について、求人事業所に対し周知徹底するよう」あっせんを行いました。その結果、同労働局は、求人事業所に配布する「従業員採用の手引き」にその旨掲載するなど、求人事業所に対し、徹底した啓発・要請を実施することとなりました。

このほかにも、「京都国立博物館の展示品におけるスケッチの許可対象の見直し」、「学生納付特例制度を利用した者に対する追納勧奨の対象者の見直し」、「病院でのクレジットカード利用促進」、「学校敷地内における全面禁煙の推進」など、今では改善が進んできていることでも当時はまだ抵抗が多く、関係機関との折衝にそれなりに苦労した記憶があります。

平成9年から開催してきた「京都行政苦情救済推進会議」も、同29年の組織再編を機に近畿管区局で一括して開催することとされましたが、京都からも行政苦情救済推進会議に諮る必要のある事案については、近畿管区

局や本省に提案してまいりますので、委員の皆様もどうぞご提案いただきたいと思います。

最後になりましたが、去年は、地震に豪雨と京都でも災害による被害を受けました。今年も元号も新たになり、災害の無いことを願っております。そして、委員の皆様には、健康で行政相談活動を楽しみながらご活躍いただきますようお願い申し上げます。



令和元年度 全体会議



北区民ふれあいまつり 2019  
(令和元年5月26日)

## お世話になりました

近畿管区行政評価局調査分析専門官 西川 八郎  
(前 京都行政監視行政相談センター所長)



この3月まで京都行政監視行政相談センターにおりました西川です。京都府の行政相談委員の皆様にはお元気でご活躍中のことと申します。平成30年4月に着任以降、委員の皆様方には何かと温かく接して下さって深く感謝しています。1年の短い間ではありましたが、全体会議、全体研修会、合同相談所、自主研修会を始め、地域のまつりや街頭での広報活動等に皆様とご一緒させていただき、皆様の行政相談に対する熱意と意欲に触れることができました。また、府内26市町村のうちの16市町を訪ねることができたこと、何より、多くの行政相談委員の皆様とお付き合いさせていただけたことで、京都を堪能した気分です。実際に、京都での1年

間の業務スケジュールを見返しますと、本当に盛りだくさんで短いような長いような何とも言い様のない気分になります。

京都に赴任する前は三重センターの所長をしておりましたが、転任のあいさつに行政懇談会のメンバーを訪問した際に、「たった1年で三重から京都に異動ですか。」と、羨ましそうに言われたことを思い出します。京都は日本人にとって特別な存在で、他の地とは違う格別なところだと思います。京都に着任して、行政相談委員、市町村、関係機関の皆様と接するうちにより強く感じました。

さて小生の近況を申し上げますと、4月から勤務しています近畿管区行政評価局首席行政相談官室において、専ら国民からの行政相談を受け付けて処理しています。朝から夕方まで、行政苦情110番、一般電話、たまに来訪による相談に対応しています。京都センターにいた頃は、京都の相談は生活保護に関するものが多いなと思っていましたが、大阪ではそれにも増して生活保護に関する相談が本当に多くあり、毎日のように生活保護の相談が寄せられています。



和束町長表敬訪問（平成31年2月14日）



また、毎週水曜日は南海高野線の堺東駅にある高島屋の「堺すいよう行政相談所」に出向いています。高島屋の6階のスペースをお借りして、司法書士会等と合同で開設しています。毎回数名の相談があり、すっかり地元に着いています。週1回ということで良い気分転換になっています。



最後になりましたが、藤井会長を始め、委員の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。機関誌が発行される8月は夏真っ盛りです、くれぐれもご健康に留意していただきたいと存じます。



京都合同行政相談所（平成30年10月16日 ゼスト御池）



リサーチウォーキング（平成31年3月15日 京都市動物園）

## 行政相談の事例の中から

京都行政相談委員協議会会長 藤井 恒子



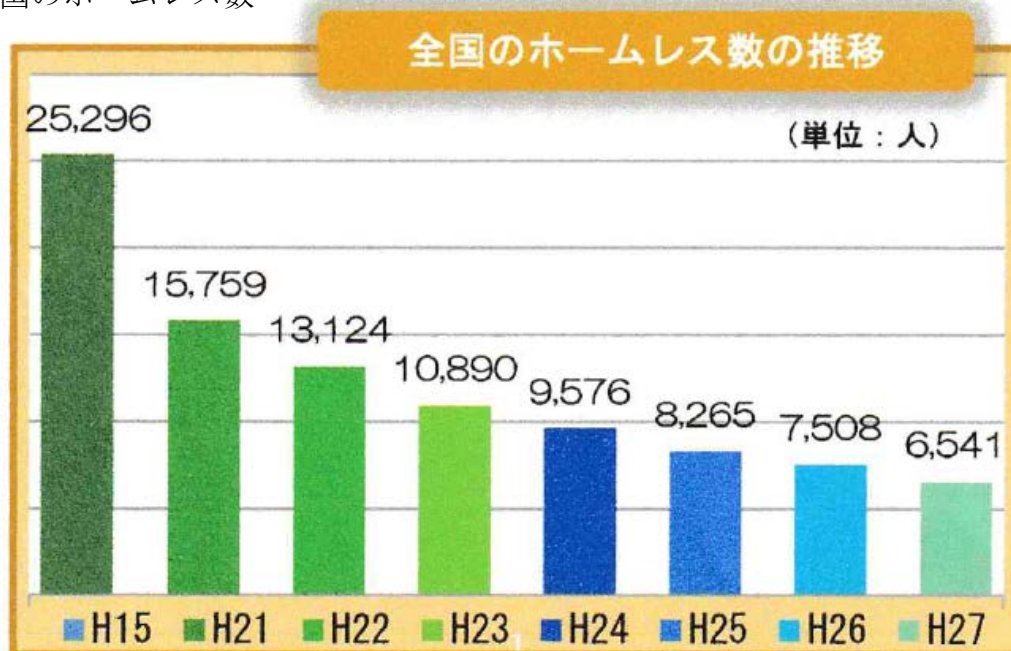
行政相談委員をお引き受けしてから、早 17 年目を迎えました。長くなればなるほど、知らないことが多いことが分かりました。学ぶ機会を与えていただいたことに感謝しております。日頃から、相談者の方のお役に立てればと、できるだけ他の行政相談委員の方からアドバイスをいただいたり、行政相談センターの皆様に教えていただいたりしております。

### 【相談事例 1】

女性会の方との行政懇談会の中で、ある方から次のような相談がありました。

「よく行く商業施設にホームレスの方がおられるが、何か支援することはできないか。」  
一度調べてみますとお答えし、その場は終わりました。後日、センターに相談し、「京都市ホームレス自立支援等実施計画」という資料をいただき、そのホームレスの方への働きかけの様子もお伺いして、「支援の方法はいろいろあるが、本人が望まなければ支援はしていない」ということを知りました。早速、女性会の方に、お伝えしました。

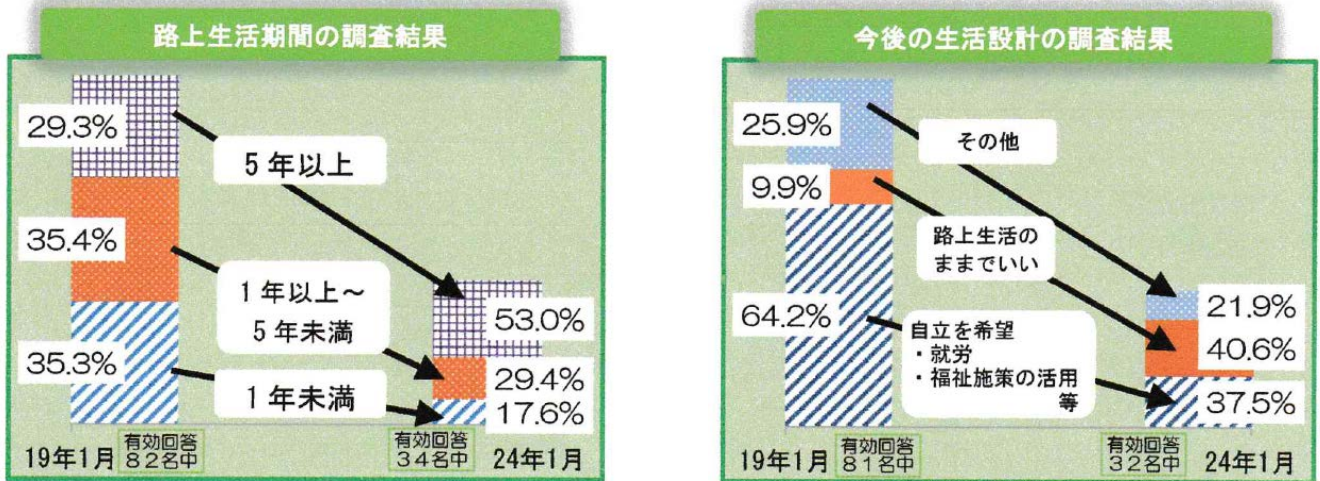
図1 全国のホームレス数



全国のホームレス数は年々減少傾向



図2 京都市のホームレスの特徴



路上生活期間の長期化が進行

路上生活の継続を希望するホームレスの増加

【相談事例2】

定例相談で、高齢者の方から相談を受けました。

「携帯電話を解約したいと申し出たがサービスショップに行っても応じてくれなかった。なぜなのか分からない。」

すぐにその会社の相談窓口で電話すると、「契約更新時期が来ていない。それ以外の時期に解約すると解約料が要る。また、名義人が相談者の夫に代わっており、名義人でないと解約できない。」とのことでした。

たぶん、サービスショップでも同様の説明がされたのですが、伝わっていなかったのだと思います。丁寧に説明すると、納得して帰られました。

高齢者の中にはお話を聴くだけでも喜んで帰っていかれます。高齢者である私も、お役に立てることがあるようです。今後、高齢者の相談が増加するでしょうし、外国の方の相談も予想されます。そのときのために、相談に応じて学んでいきたいと思っています。



行政相談を受ける様子  
(定例相談所)

## - 新任行政相談委員の紹介 -

今年度、新たに委嘱を受けられました行政相談委員ををご紹介します。



**担当地区：京都市右京区**

氏名：**濱田 博之**  
はまだ ひろゆき

(平成31年4月委嘱)

### ☆行政相談委員としての意気込み☆

今回、6年間行政相談委員を務められた委員さんの後任として、長きに渡り行政相談委員を務めておられる澤田委員様よりお声掛けいただきお引き受けいたしました。相談に来られた方々にどのように対処していくのか不安でしたが、お声掛けされ引き受けた以上、ベテラン先輩委員様方をお手本に各相談事に耳を傾け、各事項の勉強をしながら頑張っていく所存です。

### ☆趣味・特技☆

旅行・歌（カラオケ）

### ☆地域における活動等☆

地域体育振興会委員として昭和55年から活動し、平成8年より地域体育振興会会長として、平成23年より右京区体育振興会連合会副会長として、平成25年からは右京区体振連合協議会顧問として、平成27年まで活動していました。

現在地域での主だった活動はありません。



**担当地区：京都市伏見区**

氏名：**河佐 英俊**  
かわさ ひでとし

(平成31年4月委嘱)

### ☆行政相談委員としての意気込み☆

行政相談委員として手探りの中、先輩行政相談委員さんや区役所の皆様からご支援をい

ただきながら早3ヶ月（執筆当時）が過ぎました。これまでの教育関係の仕事や自治会活動の経験を活かして、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう頑張っまいるたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### ☆趣味・特技☆

これまでテニス・ゴルフ・スキーなど30年以上行ってきましたが、現在は、音楽鑑賞・絵画鑑賞など、体を動かさない趣味が中心です。時間が作れたら華道を始めたいと思っています。

#### ☆地域における活動等☆

地元自治連合会及びまちづくり協議会の役員として、また小中学校の学校運営協議会の理事として、「少子高齢化の課題」を中心に据え、「安心安全なまちづくり」の実現を微力ながら目指しております。



**担当地区：向日市**

氏名：上田 うへだ 繁 しげる

**（令和元年5月委嘱）**

#### ☆行政相談委員としての意気込み☆

このたび、在職12年、相談件数200件を積み上げられた前任者の後を受けて行政相談委員の委嘱を受けました。

35年間、地方公務員として行政に携わってきましたが、さしたるキャリアもなく、職責の重さを実感しております。

微力ではありますが、自らの経験知を総動員して、職務に当たっまいるたいと存じます。

#### ☆趣味・特技☆

戸外では、季節の野菜作りやオートバイでの近隣ツアーを楽しみ、在宅では、ネットで囲碁の対局を楽しんでいます。

## ☆地域における活動等☆

固定資産評価審査委員会委員の職や社会福祉協議会の役員を仰せつかっています。



**担当地区：宇治市**

氏名：須山 恭子  
すやま きょうこ

(平成31年4月委嘱)

## ☆行政相談委員としての意気込み☆

先輩から行政相談委員を引き継ぐ形でお引き受けすることになりました。まだまだ手探りの状態ですが、早々に先輩行政相談委員から、学ばせてもらったことがあります。

一つは、お見えになる方が一生懸命考え、まとめられた主張や意見、また「ふと漏らされた一言」を、きちんと受け止めて「国」へ届けるよう、報告をおろそかにはできないということ。頑張ってせねば…。

二つ目は、来談者の本当の悩みに気づいて、情報や資料集めに軽いフットワークで、すぐ動かれている先輩委員のお姿です。

どちらも、相手へ敬意をもって接すること、それが基本だと教えてもらった気がします。当たり前のことと決めつけず、決して忘れてはならない姿勢なのだと、心に深く刻み込みました。

## ☆趣味・特技☆

絵画や音楽を鑑賞すること。

本物に接して、その美しさに感激すると、パワーを貰ってエネルギーを充填できます。だからでしょうか、美しい自然の中に行くハイキングも大好きです。

## ☆地域における活動等☆

退職後に、社会福祉士の資格を取り、認知症高齢者の方が権利を損なわれず、快適に生きてゆかれるようお手伝いするべく、細々ですが活動を続けています。





担当地区：宇治市

氏名：光田 清治

（平成31年4月委嘱）

#### ☆行政相談委員としての意気込み☆

行政に関わった経験もなく、活動の内容も分からないまま私で務まるのかなどの想いでおりましたが、地元で仕事をさせていただき、お世話になった地域に少しでも協力できるのであればとの思いでお受けしました。

行政相談センターや先輩委員の方々にご指導を仰ぎながら、研鑽を積んでまいりたいと思います。

#### ☆趣味・特技☆

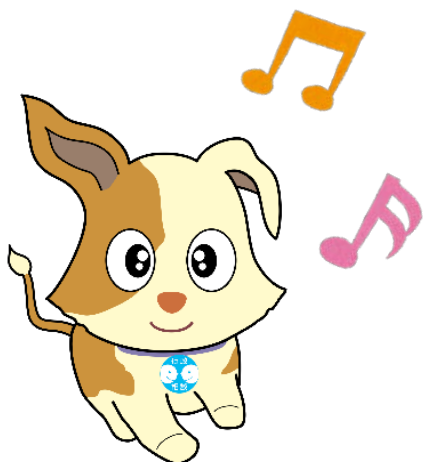
ホッケーのジャッジとして、主に大阪で行われる大会（日本リーグ等）で試合運営に関わりながら、現役選手の活躍を見て楽しんでおります。

あと、下手な月一ゴルフです。

#### ☆地域における活動等☆

民生委員として現在5期目ですが、4月より急遽地区会長をお受けすることとなり、バタバタとしております。

他に、ロータリークラブでの奉仕活動や社会福祉法人で評議員をしております。



業務説明の様子（平成31年4月4日 センター会議室）



**担当地区：城陽市**

氏名：<sup>ほりい</sup>堀井 <sup>けんいち</sup>健一

(平成31年4月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

現役(宇治市職員)時代の経験が何かの役に立つかも…と、気軽にお引き受けした行政相談委員ではありましたが、ふり返れば退職後何年もの年月が経過して世の中は大きく様変わり、行政もまたしかりです。

ご相談に的確に対応できるよう、幅広い行政の中身について、改めて勉強し直す必要があると思います。ご指導よろしく申し上げます。

☆趣味・特技☆

若かりし頃に馴らしたテニスは、障害者手帳保持の身となった今、再挑戦は諦めました。

今は「65歳の手習い」で始めた民謡が心の安らぎです。全国各地で開かれるコンクールにもたまに出場しながら、妻とふたりで民謡のふる里を訪ねるたびを楽しんでいます。

☆地域における活動等☆

関わっている地域の活動は、たくさんあります。いちいちご披露しても紙面の浪費なので控えますが、要するにお断りするのがへたくそなのです。あと暫く、この状況は変わらないと思います。



**担当地区：久御山町**

氏名：<sup>うのくち</sup>鵜ノ口 <sup>いづみ</sup>伊都美

(平成31年4月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

「私によければ」とお受けしたものの、いろいろな場に参加させていただき今は不安いっぱいです。

相談日初日に来てくださったセンターの方から「まず、しっかり話を聴いてあげてください。」と教えていただきました。相談に来られたお一人お一人に寄り添いしっかりと話を聴き、話してよかったと喜んでいただけるよう、笑顔で帰っていただけるように、いろいろな方にご指導いただきながらがんばりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

#### ☆趣味・特技☆

特にありませんが、今は本や雑誌を見ながら行ったつもり・食べたつもりを楽しんでいます。

#### ☆地域における活動等☆

自治会の福祉協力員をしています。



**担当地区：笠置町**

氏名：きたがわ北川 かずみ一美

**(令和元年5月委嘱)**

#### ☆行政相談委員としての意気込み☆

突然、行政相談委員としての仕事を受けることになり、私にできるのだろうかと不安でいっぱいでしたが、委嘱状交付式で話を聞く中で、まずは相談者の話を丁寧に聴いて、相談者の立場になって対応し、そのパイプ役になれば良いのだと思い至りました。

悩みや困りごとがひとつでも解決できれば嬉しいです。

#### ☆趣味・特技☆

- ・野菜栽培
- ・学芸

### ☆地域における活動等☆

子育て支援のお手伝いをし、保護者の方の話を聞いたり、子どもたちと触れ合ったりしています。

「HOME」という団体のメンバーで、月1回、子供と高齢者の食事提供と遊びなどの活動を行っています。



**担当地区：南山城村**

もりしま とおる  
**氏名：森嶋 徹**

**(平成31年4月委嘱)**

### ☆行政相談委員としての意気込み☆

行政相談委員となって上手く対応できるのか大変不安です。39年間勤めた南山城村でやり残してきた種々雑多な業務の延長線を再びなぞっていくのではないかと考えています。課題や悩みを持った相談者の心に寄添い地域の方々の不安や悩みを少しでも取り除くことができ、事案の解決につながるよう活動できればと思っています。

### ☆趣味・特技☆

家の周りには山や農地が沢山あり、庭いじりだけでなく水田や畑で農作物を作っています。日々成長する植物を育てるのは楽しく、できたものが立派だったりおいしかったりすると最高です。

### ☆地域における活動等☆

京都府公安委員会から委嘱を受け地域交通安全活動推進委員として、警察署交通係が保育園や小学校で安全な歩き方や自転車運転免許についての講座を実施する際に、ボランティアとしてお手伝いをしています。

今年4月より福祉有償運送の協力員として、社会福祉協議会から高齢者や障がい者等の日常支援をするため外出支援サービスのお手伝いをしています。





**担当地区：亀岡市**

氏名：武田 <sup>たけだ</sup> <sup>まなぶ</sup> 学

(平成31年4月委嘱)

#### ☆行政相談委員としての意気込み☆

市役所に勤務していた頃の後輩に依頼され、現役時代にお世話になったこともあり、あまり深く考えず、二つ返事で行政相談委員になりました。よろしくお願いします。

亀岡市では5月に合同行政相談所が開催され、10時の開始時には20人余りの相談者が来られ席が足りないほどで、その後も終了時間まで絶えることなく相談者がお見えになり、合同行政相談所が期待されていることを確認することができました。

しかし、行政相談委員のコーナーにはなかなか相談者が現れず、手持ち無沙汰にしていたところ、終了間際に1組の御夫婦が来られました。年金生活をされているが、最近内部疾患を患われ、税金や障害者施策のことについての相談でした。対応した私たちは、税務や福祉の仕事の経験があったことで、なんとか説明をすることができました。丁重にお礼を言われ笑顔で帰られた後ろ姿を見送り、行政相談委員もなんとなくいい気持ちになり、その日を終わることができました。その気持ちをこれからも行政相談委員として大切にしたいと思っています。

#### ☆趣味・特技☆

スーパーの野菜と比べものにならないほど美味しいとおだてられ、猫の額ほどの菜園をやっています。15年余りになります。

#### ☆地域における活動等☆

地域の保護司をしています。5年余りになります。今年は役が当たり、とても忙しくしています。



**担当地区：亀岡市**

氏名：なかむら 中村 しゅうじ 修司

(平成31年4月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

現役時代の後輩から依頼がありお受けしました。皆様のご指導をいただき懸命に頑張りたいと思います。

思いとしてですが、特に昨今の時事、虐待・詐欺・いじめ等、健全な社会を壊している事象が毎日のように起きています。我々、年配の大人の責任にも垣間見えます。間接的ではありますが、そうした事象を少しでも和らげるよう努力したいです。

☆趣味・特技☆

特に見当たりませんが、定年後から続けている夏野菜栽培です。4月の準備から10月の収穫終了まで、約半年間、私にとっては心身共に良い汗がかける充実した日々です。

☆地域における活動等☆

現在は地元の自治、農政等に関与させていただいており、やりがいを感じております。



**担当地区：南丹市**

氏名：なかがわ 中川 つよし 剛

(平成31年4月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

同郷の麻田勝司さん(前行政相談委員協議会会長)から直接お話をいただき、力不足とは思いつつ快くお受けしました。

麻田さんには、町役場にお勤めの頃から南丹市社協の会長をされておられた頃まで、行政の大先輩として大変お世話になり、また、地域福祉に尽力された温かいお人柄を身近に感じておりましたので、後任として大変光栄に思っております。

京都府で仕事をしていた経験も活かしながら、少しでも地域の皆様にお役に立てるよう、頑張っ<sup>て</sup>まいりたいと思います。

#### ☆趣味・特技☆

毎週土・日、かれこれ20年ほどテニスで汗を流しています。

#### ☆地域における活動等☆

定年後、老人クラブの事務局（府老連）に勤めている関係から、老人クラブの組織化や健康長寿を目指した取組、高齢者相互の助け合いなど、その普及に取り組んでいます。



**担当地区：京丹波町**

氏名：<sup>おかもと</sup>岡本 <sup>さとみ</sup>佐登美

**（令和元年5月委嘱）**

#### ☆行政相談委員としての意気込み☆

長年、町職員として勤めさせていただき、その間、いろいろな方にお世話になりました。微力ですが少しでもお役に立てればとお引き受けしました。

知識・経験ともに非常に乏しいですが、先輩の行政相談委員の方々にご指導いただきながら、関係機関とも連携し、相談に来られる方々に寄り添いお話を聞き、納得していただけるよう頑張っ<sup>て</sup>まいりたいと思っています。

#### ☆趣味・特技☆

読書、特に推理小説が好きです。

花が好きで、庭いじりをしています。雑草に悪戦苦闘しています。

#### ☆地域における活動等☆

退職後、地域のボランティアグループに参加させていただき、高齢者の方や子供たちの食事会の開催、清掃活動などを通じ、地域の活性化につながればと、仲間の皆さんとともに楽しみながら活動しています。



**担当地区：舞鶴市**

氏名：<sup>きしもと</sup>岸本 <sup>ともこ</sup>朋子

(平成31年4月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

私でお役に立てればと、仕事の内容もよくわからないままお受けしました。

第一回目の相談日には、先輩委員による相談者への対応を拝見し、話を丁寧に聴き取り、相談者が安心して退席される様子を見ました。

先輩委員・職員の皆さまにご指導いただきながら、私も、「相談してよかった」と感じてもらえるようになれば、と思います。

☆趣味・特技☆

公共交通機関を利用して、映画・演劇鑑賞、コンサートに出掛けています。

☆地域における活動等☆

- ・福祉サービス利用援助事業 生活支援員
- ・地域のお年寄り見守り訪問
- ・小学校での読み聞かせ



**担当地区：綾部市**

氏名：<sup>のま</sup>野間 <sup>まさき</sup>正樹

(令和元年5月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

長年、綾部市職員として勤務させていただき、在職期間中は様々な業務に当たる中で多くの市民の皆様とお出会いしてまいりました。

市民の方々が、日々の生活の中で様々な疑問や悩みをお持ちになる中で、お話を傾聴し、一緒に解決への方策を模索することが多かったように思います。



この度、行政相談委員に就任させていただきまして、微力ではありますが、市民の皆様と行政とのパイプ役としてお役に立てますよう頑張ってみてまいりたいと思っております。

#### ☆趣味・特技☆

ウォーキング

乗り物に乗っては見えないものが発見できたり、自分の考えがまとまって気分が安定します。精神的・肉体的にとっても健康になれます。

#### ☆地域における活動等☆

地域の自治会の役をやらせていただいています。



**担当地区：宮津市**

氏名：しらいし としこ**白石 肇子**

**（平成31年4月委嘱）**

#### ☆行政相談委員としての意気込み☆

相談に来られた方に話しやすいと思われるように接していきたいです。

お話を聴くにしても、いろいろな知識を持っている必要があるので、先輩の委員にご指導していただきながら、努力して頑張っていきます。

よろしく申し上げます。

#### ☆趣味・特技☆

読書（マンガも大好きです）

#### ☆地域における活動等☆

- ・「女性の船 ステップあけぼの」の宮津与謝支部の役員
- ・要約筆記のサークルを通じ、宮津市内でのボランティア活動
- ・上宮津21夢会議の歴史文化部の一員として地域の掘り起こし
- ・グループで大豆を育てて味噌作り



**担当地区：京丹後市**

氏名：辻田 壽男

(平成31年4月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

市役所の担当者などから、「行政書士をしているし、前職からしても最適だから」と言われ、最終的に断り切れず、行政相談委員をお引き受けすることになりました。

非力な私ですが、相談者の声によく耳を傾け、誠意を持って対応していきたいと思っております。これから少しずつ経験と研鑽を積みながら、少しでも社会の役に立つように努力していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

☆趣味・特技☆

退職後に始めた登山は、毎年2か所程度登っています。山に登るためには体力が必要で、ほぼ毎日1万歩以上のウォーキングで体力作りをしています。

☆地域における活動等☆

集落の各種団体や寺の役員、通学児童の見守り活動をしています。



**担当地区：京丹後市**

氏名：坪倉 護

(平成31年4月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

市役所より行政相談委員の依頼があり、タイミングよく仕事を辞めた時なので、受諾することになりました。前の仕事の中でも苦情を受けたり、要望を聞いたりしている中で、少しでも役に立てればと考えて業務をこなしていました。難しい課題もありましたが、解決できたときの喜びは今でも忘れません。役に立てればとの思いで受けることにしました。

☆趣味・特技☆

- ・盆栽
- ・観光を兼ねて街歩きしながら日本文化に触れるのを楽しんでいる。
- ・畑で作物を育て、収穫を楽しんでいる。

☆地域における活動等☆

地元自治会の奉仕作業ほか



**担当地区：京丹後市**

氏名：堂田 どうだ 孝二 こうじ

(平成31年4月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

長年の峰山町及び京丹後市職員としての経験が、行政相談委員としてどれ程のお役に立つのか分かりませんが、とりあえず、いただいた資料をすべて読破することに集中し、相談にこられる方々に対応できる下準備を行っているところです。

また、地区内の先輩委員のアドバイス等も参考にさせていただきながら任務を全うできるように努力したいと思っています。

☆趣味・特技☆

「晴耕雨読」。晴天時は、ウォーキング 7000 歩。雨天時は、読書（先日「東野圭吾」読みました。作者名は「“ひがしの” 圭吾」なんですね）

☆地域における活動等☆

「男の健康体操」サークルの事務局をしています。

月 2 回ですが、1 人で運動できないシニア男性達ばかりが集まって、美人講師の指導のもと 8 年余り続けています。



**担当地区：京丹後市**

氏名：和田 わだ 亙弘 のぶひろ

(平成31年4月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

京都府警察の職員として勤務した経験を生かすことができたとお受けいたしました。私の方が相談したいというのが本音です。就任早々の定例相談会から複数の相談者来訪がありました。分からないことは、行政相談センターの担当職員の方から適切なご指導がいただけるので安心していきます。行政相談委員の諸先輩方とも積極的に交流させていただき相談委員として必要な知識の涵養に努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

☆趣味・特技☆

趣味は、子供のころから続けている釣りです。若いころは、真鯛等の大物釣りを好んでおりましたが、最近は知人の漁師のさんと五目釣りに出ています。

☆地域における活動等☆

地域の公民館長のほか、小学校の子供見守り隊の隊員として防犯パトロールや通学路での交通立哨等、ボランティア活動を行っています。



**担当地区：与謝野町**

氏名：森岡 もりおか 克成 かつなり

(平成31年4月委嘱)

☆行政相談委員としての意気込み☆

与謝野町職員を定年退職し、晴耕雨読の生活を夢見ていましたが、先輩や同僚から薦められ、受諾を決意しました。

定例相談では、他の相談員さんと協力し、相談者の身になって対応していきたいと思

ます。また、この活動が国と住民のパイプ役として、日々の生活の向上につながるよう努めていきたいと思えます。

☆趣味・特技☆

野菜づくり・グラウンドゴルフ・読書・旅

☆地域における活動等☆

地元自治会の理事・地元グラウンドゴルフ協会の役員



皆様のご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。





# 令和元年度表彰等受賞委員のご紹介

令和元年度に表彰等を受けられた委員の方々をご紹介します。  
受賞等を受けられました委員の皆様、誠におめでとうございます。

## ◆ 近畿管区行政評価局長表彰

佐々木 茂子	委員	京都市左京区
宮崎 厚孝	委員	井手町

## ◆ 京都行政監視行政相談センター所長感謝状

塩尻 マユミ	委員	京都市伏見区
田中 祐考	委員	京都市伏見区
本井 美知子	委員	向日市
松井 康次	委員	木津川市
山口 栄	委員	宮津市
倉 秀樹	委員	伊根町

## ◆ 総務大臣表彰 (平成 30 年 10 月)

澤田 勉	委員	京都市右京区
元部 満	委員	向日市

## ◆ 全国行政相談委員連合協議会会長表彰

鹿田 治男	委員	京都市山科区
-------	----	--------

## ◆ 近畿行政相談委員連合協議会会長表彰

酒井 剛	委員	京都市下京区
寺嶋 敦子	委員	大山崎町
中西 晴子	委員	大山崎町

## ◆ 内閣総理大臣主催「桜を見る会」招待

日下部 純子	委員	南丹市
--------	----	-----

## ◆ 叙勲 (瑞宝双光章) 受章

塩尻 マユミ	委員	京都市伏見区
--------	----	--------

近畿管区行政評価局長表彰被表彰者



下段左から、佐々木委員、宮崎委員

京都センター所長感謝状被表彰者



下段左から、塩尻委員、田中委員、本井委員、松井委員、山口委員、倉委員



令和元年度京都行政相談委員全体会議にて  
ご紹介させていただきました。



全相協・広相協会長被表彰者



下段左から、酒井委員、鹿田委員、寺嶋委員、中西委員

総務大臣表彰被表彰者・  
桜を見る会招待者・叙勲受章者



下段左から、澤田委員、日下部委員、塩尻委員



一部の委員にご寄稿いただいております  
ので、次ページ以降でご紹介します。

## - 受賞委員の声 -

### 「一期一会を大切に」

京都市左京区 佐々木 茂子



この度近畿管区行政評価局長表彰を賜り心から感謝申し上げます。

これまでの行政相談委員活動がこの表彰に見合ったものだったのだろうかと振り返るとともに、これから相談に来られる皆様の満足に答えていける良き相談者としていっそうの努力をしていかなければと思っております。

毎月定例の相談会では、行政に関する相談よりもむしろ、家庭内での問題や、既に完了してしまった相続に関する不満・不信感に関するお話を聞くことが多いように思います。

そうした相談の中には、相談者の意向に沿った答えを出すことができないことも多く、このようなご返事でよかったのだろうか、と後刻委員同士で話し合う場面もありました。

一方で、相談者が翌月再び来られ、「この前はありがとうございました。話を聴いていただけて気持ちが楽になりました。」と喜んでくださったこともあり、そのときは、少しはお役に立てたのかなと嬉しく思いました。

京都市役所を退職後、縁があって行政相談委員のお仕事をお受けした頃、ご近所の方から「お茶」のお稽古に誘われました。

子供のころに礼儀作法として習った茶道でしたけれど、日々皆様方と茶道に触れて気付くことができました。

茶道は「香」、「花」、「懐石料理」、「建築」、「陶芸」や「工芸」など、日本古来の伝統文化の集大成であり、「和の心」を感じるのだと思います。

茶室での亭主は「こころを込めて一椀のお茶を振る舞い」客は「感謝を込めて味わう」ことで、こころを通わせます。

茶の湯の根本には「一期一会」の精神が流れています。

人との出会いは一生に一度だと思って接しななければならないと思います。

行政相談においても心を込めて相談相手のお話をじっくり聴き、相談者の立場に立ち、解決に向け努力することが大切だと思います。

これからも行政相談活動もお茶のおけいこも楽しみながら「一期一会」を大切に精進していこうと思います。

## 初心忘るべからず

京都市伏見区 田中 祐考



二年前、私に行政相談委員の引き継ぎをしてくださった方は、十九年間という長きにわたり行政相談委員をされてきた方でした。

私自身、他の方からご相談をお受けする経験があまりないので、今の気持ち、「初心」についてふれてみたいと思います。

世阿弥の残した言葉に「初心忘るべからず」があります。今では「はじめの志を忘れてはダメですよ。」というように使われていますが、本来はもう少し深いようです。

世阿弥は『花鏡』の中で、

第一に「ぜひ初心忘るべからず」

第二に「時々の初心忘るべからず」

第三に「老後の初心忘るべからず」

とし、三つの「初心」について記しています。

京都でお能の観世流を継承する片山九郎右衛門先生は、この言葉を「世阿弥の知恵。心から心へ伝える花を次へ受け渡すために最も大切な教え」と記しています。

まずは「若さゆえにありがちな自信過剰、または思い込みゆえの未熟さ」を「初心」と

いい、失敗を恥に学び、乗り越え、成長しようとしています。

次に、「時々」とは、若い頃から最盛期を得て老年に至るまでの時期のことです。

最後に「老後」は「枯れた肉体に似つかわしい風体を工夫しつつ刻み込み忘れぬこと。」と解説されています。（「」内は京都新聞より）

この記事を読み、私は初めて「初心」が「初めての志」のみを言うのではなく、「一つ一つの積み重ねの上に改めて築かれていく学び」も含むということを知りました。精進を重ねた者が、自らにふさわしい初心を忘れないようにする。その都度、改めて「初心」を抱いていく。このような姿勢に私は、反省と学びの謙虚さを、教えられたように思います。

日々、私たちは新しい日を迎え、未体験のことに出会います。「初心」の言葉を思いながら、先人に感謝をして、少しでも社会のお役に立てるよう、精進してまいりたいと思います。



## 感謝状を受賞して

向日市 本井 美知子



この度、京都行政監視行政相談センター所長感謝状の受賞を賜り、ありがとうございます。

行政相談委員を受けて、まだ3年目です。正直、少々戸惑いを感じ、恐縮しております。といいますのも、今まで、先輩行政相談委員の方に、ご指導をいただきながらの活動ばかりでした。

また、京都府内だけでなく、近畿管内の研修に参加させていただく中で、各地の委員の方々のご活躍に圧倒されてきました。地域の出来事を把握し、積極的に活動されている事例に多く接し、地域の役員、例えば、民生児童委員の方々との連携の必要性を知りました。向日市の場合、その民生児童委員の会長・副会長の方と一緒に相談を受けます。改めて良きシステムだと思いました。

今まで一番印象に残っている相談は、「自分が原因で家族が出て行ってしまい、改善するにはどうしたらよいだろうか。」という事例です。考えに考えて思い切ったの来館だったのか、受付ぎりぎりの時間でした。家族間にひび割れを生じさせてしまって、探さない

でと思い詰めるに至った家族に、自分の言動を反省しながら、これからどう生きていったらよいのだろうといった繰り返し同じようなことで、延々1時間ばかりの話でした。

聞いてくれる人がいるだけで救われることがある、『聴く』『受け入れる』『待つ』の傾聴の基本を心しながら、行政相談委員をしなければと考えています。

在職中、保育所を中心とした行政機関にいたこともあり、子どもを仲立ちとした保護者との関係や子どもを主人公とした保育を進めていくにあたって、職員とのチームワークは良き人的関係を育成する大事な基盤であると思っています。様々な対応をするにあたってカウンセリングは必要かつ欠くことのできないものでした。

今まで地域でお世話になり、人生を送って来られたことに感謝し、小さな力でも社会還元していきたいと思っています。

これからも、他の行政委員の方々、行政監視行政相談センターの皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



## 京都行政監視行政相談センター所長

### 感謝状をいただいて

木津川市 松井 康次



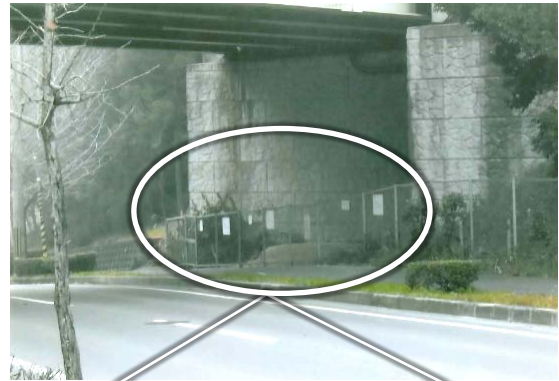
行政相談委員に就任して経験の浅い私がこの度、京都行政監視行政相談センター所長感謝状を賜り誠にありがとうございました。これもひとえに、先輩行政相談委員の方々をはじめ、京都行政監視行政相談センター職員の皆様のご指導の賜物と、感謝とお礼を申し上げます。

行政相談委員として受けた数少ない相談の中から、一件の相談についてお話をします。

平成 28 年 12 月の定例相談日に 40 代男性の方が来られました。

お話を聞くと、「私（相談者）の住んでいる家の近くの、地方道路と京奈和自動車道が立体交差する箇所、京奈和自動車道の高架下のフェンスで囲われた場所に人（浮浪者）が出入りし生活している。半年くらい前から散歩の際に気になり始めた。散歩中にその人と出会うときは注意するのだが、一向に動く気配が無いので相談に来た。」とのことでした。翌日の早朝、高架下の片隅の現場を見ると、どこからか集めた数本の傘、段ボール、汚れた布団等で囲まれ、確かにそこで寝泊りしている様子でした。

(現地の様子)



立入禁止となっているがフェンスを越えて侵入し、生活しているとみられる。

現地確認の後、道路を管理している木津川市の高速道路事務所・管理第 1 課を訪れ、状況を報告しました。その際に課長様とお話すると、次のことが分かりました。

～フェンスの中の様子～  
傘や衣類などが積み上げられて  
いる。



〈木津川市による説明〉

1. 市は平成 17 年ごろから、何者かがこの場所で寝泊りしている事態を把握しているが、それが現在まで継続しているかどうかは把握していない。
2. 今年（平成 28 年）8 月、本人が地元警察、NPO 法人「ソーシャルサービス協会」の支援を受け、生活保護の申請及び生活場所の模索を進めていると認識している。

相談者に対して上記内容を当日に伝達したところ、早急な解決を懇願されました。その後も相談者とは電話やメールで何度かやり取りを続けました。

それから数ヶ月が過ぎ、翌年（平成 29 年）6 月 22 日に相談者からメールが届き、ようやく解決されたとの連絡がありました。同時にありがたいメッセージもいただきました。

翌日、課長様に電話すると、前月、寝泊りしている本人から施設への入所希望等を聞いた上で、NPO 団体と入所地の候補について打合せを実施したとのことでした。

さらに翌日、現地を確認すると、傘や布団などが移動されており、きれいさっぱり何もない状態になっていました。

課長様とお話をする中で、この場所で寝泊りしていた人が NPO 団体と市の健康福祉部くらしサポート課の紹介で施設に入所することになったと知り、NPO 団体にお礼の電話を入れました。

その方も、ホームレスではなく施設での生活となり、安定した人生生活を送ることができるようになったということで、大変喜ばしく、無事完結したことに感謝しています。

関係者の皆様、ありがとうございました。

## 活動を振り返って

宮津市 山口 栄



平成 29 年に行政相談委員を引き受け、あっという間の 2 年間でした。

この 2 年間で振り返ると、何もしていない、役に立てていないと感じるばかりです。そんな中、思いもかけず京都行政監視行政相談センター所長感謝状をいただき、大変恐縮しています。

宮津市では、毎月 1 回、行政相談委員 2 人が、人権擁護委員 1 人、市担当者と一緒に相談を受けています。このうち半分は、市の南部地区と北部地区に分かれて相談所を開設しています。この 2 年間での相談件数は数件とわずかでした。相談内容は、国に行政に対するものではなく、身近な市に対することや民事の案件でした。

受けた相談の中で、80 歳を超えた高齢者の相談で、隣家との土地等に関する内容が 2 件ありました。2 件とも相談者の親の代からの案件で、専門家や別の相談所にも行かれています。解決していないものでした。子供さんがおられても遠方に在住で関わりが薄く、自分が生きているうちに何とかしなくては、

との思いが強く、一人で悩まれていたということでした。

この方たちの相談を受ける中で、話が核心から離れたたり、時系列が前後したり、また私の経験・知識不足もあり、上手に聞き出し理解することが難しいなあと感じました。対応時間も長時間を要しました。その日の相談者は一人だけだったので、話したいことは全て話して帰ってもらいましたが、他にも相談者がおられたら途中で話を切ることになったと思います。ただ、その場で問題解決には至らなかったものの、少しはスッキリして帰ってもらえたと思います。高齢者が多い地域ですので、今後もこういうことが考えられますが、少し距離を置きながらも、まずは相手の立場を理解し親身に話を聞き相談に乗ることが大切だと感じています。

2 期目が始まりましたが、自己研さんを積み、センターの職員さん、市担当者のご指導を受けながら活動に励みたいと思っています。

## 近畿行政相談委員連合協議会

### 会長表彰を受賞して

京都市下京区 酒井 剛



今まで行政相談委員としてこれらしき活動をしていなかった私が、この度近畿行政相談委員連合協議会会長表彰を頂き戸惑いを感じるところであります。

前任者から行政相談委員の詳しい仕事の内容も聞かず、唯々今なにも仕事をしていないなら良い仕事があると言われ、誘われるままにお引き受けした次第でありました。したがって、行政相談委員をお引き受けした最初の2年程は、行政相談委員協議会のことも理解できず、定例相談日や特設相談日に当番で参加するという状態でした。ましてや行政相談委員全体会議といわれても、ただ参加するだけで何も分からずじまいでした。

それから年月が過ぎましたが、今感じるところは、他の行政相談所は分かりませんが、私どもの、月に1回の行政相談日に相談に来られる方はほとんど居ないということです。1年に5名程度かと思います。その内容も行政とは無縁で、本当の行政に関する問題で相談に来られたことは今まで皆無に等しいと思います。

この組織ができてから50数年経ちます。初期の頃はそれなりに相談も数多くあったと思いますが、今の時代に国に要望することもなくなってきているのも事実だと思います。また今、本当に国に対して要望しようとしても、法律を変えなければいけない事案となることがあり、そうなれば行政相談委員では処理できず、地域の国会議員に直接要望されてはどうかとってしまいます。また今は国や行政機関、国会議員にインターネットで直接要望や意見を述べられる時代であり、わざわざ開設場所へ出向いてくる意味合いがなくなってきています。それにも関わらず、旧態依然として全国で5000名程の相談委員が当初から変えずに大部分はやっている。確かにいろいろな悩みを聞いてあげる場は必要かと思いますが、それを行政相談委員がすべき仕事かどうか少し疑問を感じています。今ここで述べる程の新しいアイデアというものはありませんが、何か違った方法を模索し提案できればと思っています。



## 行政相談委員活動を振り返って

大山崎町 寺嶋 敦子



大山崎町では、「心配ごと相談」として人権擁護委員と行政相談委員が月1回の定例相談を実施しています。そのため広い範囲の相談者が来られます。地域環境のことや近隣とのトラブル、認知症の家族を抱える悩み、離婚の相談などが多い現状です。夫のDVや女性問題などの場合、切羽詰まって来られるのですが、良い解決がなかなか見つけられないことが多いです。というのも、相談に来られるほとんどの女性が仕事を持たず、経済的に自立ができないため、夫に反抗もできず、離婚もできずに耐えてきたという事例が多いからです。中でも、「夫が浮気して家を出てしまい、幼い子供を育てながら困っている」という方が相談に来られたことはよく覚えています。その方は、大山崎町福祉課の担当者に保育所入所の手続きを教えてもらい、まず仕事を探し自立へ向けて歩いていかれることになりました。その後どうされたか、今でも気にかかっています。

男女共同参画が国民的課題ですが、女性がしっかり生きていくのにはまだまだ厳しい現実があります。一人ひとりが自立していける

よう男女間の経済格差が亡くなる環境づくりや就労支援が必要だと思います。

さて、以前には出前教室にも取り組ませていただきました。

大山崎町は小学校が2校、中学校が1校なので、話が進めやすく開催しやすいのではないかとこのまわりのご意見もあり、乙訓地域ではトップに実施することになりました。

町の政策総務課や教育委員会が協力してくださり、中学校に話をもちかけ3年生の授業に取り入れてくださることになりました。4クラス一斉に対し50分の出前授業を実施しましたが、短いながらも生徒さん達が真剣に聞いてくれて充実した内容になりました。

担当だった出野さんと藤井委員による講演があり、大山崎町担当の行政相談委員2人からは町内で実際に受けた苦情や相談の事例などを話しました。授業後のアンケートには、行政相談を理解したという声が多くあり、身のまわりの問題点や改善してほしいことなどをたくさん記入してくださいました。後日、出野さんが丁寧にアンケートを分析し、解決



できそうな件を処理してくださいました。解決が難しそうな件についても、その理由を説明し、今後の課題として引き取ってくださいました。見学に来てくださった洛南地区の委員のみなさまが、生徒さん達の真剣な態度に感心し、また校舎が整然と清潔に使われていることをほめてくださり、とてもうれしく思いました。

さらに、当初から協力的だった校長先生が、当時入院中にもかかわらず駆けつけてくださったことも忘れられない思い出となりました。取り組むまでは消極的だったのですが、良かったと思える出前教室でした。

～出前教室の様子～

平成 24 年 9 月 26 日 大山崎中学校



## 近畿行政相談委員連合協議会

### 会長表彰を受賞して

大山崎町 中西 晴子



平成 21 年の早春のある日、大山崎町役場より行政相談委員への依頼がありました。その前年に夫の病気介護のため 9 年務めた民生児童委員を退き、少し荷を下ろした心持ちでいる時で、正直、青天の霹靂という感じでした。

「行政相談委員」については、私が民生児童委員とき、何回か相談員として出席した

「心配ごと相談」の際に「行政相談委員」という名札を見たことがありました。きっと難しい相談業務を請け負っているのだろうと勝手に思っていたので、その委員にとお話があった時はかなりビックリしました。そして迎えた相談日初日は、かなり身を固くしていたことを思い出します。

その後、行政相談委員の会議・研修で、先輩委員の方々、行政相談センターの職員の皆様のご助言・ご指導をいただきながらの 10 年はあっという間の日々でした。

この 10 年の微々たる歩みの内容は、民事事案については話を伺い、簡単なアドバイスや他の相談場所への斡旋などが主な解決方法になるので、スッキリ解決とはいかず、忸怩たる思いが残ることもありました。行政事案については、解決まで 2 年以上かかることが多いのですが、町や警察の方が真摯に対応してくださり、修理が完成というスッキリ解決もありました。

(図 1、2 は、スッキリ解決できた事例です。)

平成 24 年 9 月に洛南地区初めての出前授業を大山崎町中学校にて実施し、授業後のアンケートに記載された改善要望を相談官と現場検証し、その後、教育委員会に提出した報告書をもとに改善が見られました。ただ、準備に 2 年要した「出前授業」も次年度につなげられなかったことは残念でなりません。



(定例相談所の様子)

今では相談日の不安は少し解消され、地域の方々の相談相手として、また小さなことでも改善されることがあればと思いつつ、あと少し頑張ってみようと思っています。

ここまでいろいろご指導いただき、相談に乗っていただきました先輩諸氏、行政相談セ

ンターの皆様には心より感謝しております。この度、近畿行政委員連合協議会会長表彰を頂くことができましたのも皆様方のお力添えがあったのでございます。誠に有難うございました。そして、今後ともどうぞよろしくご指導・ご鞭撻のほどお願いいたします。

### 【図1】問題となった事例の写真

資源ごみ集積場の台の腐食が激しく、危険を感じていたため補修を依頼。



### 【図2】改善後の写真

集積場の取り換えが完了。





## 地域とのふれあい

京都市山科区 鹿田 治男



この度、全国行政相談委員連合協議会会長表彰を賜り、身に余る栄光であり、心より感謝申し上げます。平成19年4月に行政相談委員の委嘱を受け、相談業務についての職責を自覚し、身近な相談員として、相談者が少しでも前に進めるよう皆様の架け橋となるべく、関わってまいりました。

相談に当たっては、①「その人」を大切に、②「笑顔」を大切に、③「地域」を大切に、ということを心掛けています。今日まで大過なく、行政相談委員として活躍できたのは、歴代の先輩委員、同僚委員、行政相談センター職員及び山科区まちづくり推進担当職員の方々のご指導、ご協力のお陰です。この受賞を機に初心に帰り、地域と行政の仲介役として、地域に根差した委員としての役割を果たしてまいりたい所存です。

山科区の定例相談には、高齢の方が決まってお見えになります。誰かと話すことを楽しみに来られている様子です。相談がないときは心配になります。定例相談がこうした方々の拠り所になっていると日々感じています。

さて、皆様もご存知のとおり、まだ「独居世帯」や「核家族」という言葉が無かった日本においては、家には親兄弟、老人から子供まで大家族で過ごす光景が当たり前でした。しかし、今の私達を取り巻く社会では、少子高齢化に伴い近隣とのふれあいが希薄化しており、「共に生きる社会」の実現が緊急の課題であると考えます。

私は山科の町が大好きです。水と緑豊かな自然が脈々と受け継がれてきた山紫水明の町であり、また交通の要所として昔も今も京都の玄関口の役割を担っております。常々、自分の町を誇り、いつまでも住み続けたいと思っており、人とふれ合える業務に関わっています。平成15年から青少年たちと「山科にホテル」という事業に携わりました。地域の方々と一緒に、生き物を育てる大変さや河川環境について学ぶことができ、一生の財産となりました。ここでの地域や人との関わりを活かし、現在勤務している介護老人施設（社会福祉法人「香東園やましな」）の入居者の皆様とのふれあいに努めています。当施設が高齢者をはじめ、地域の方々に開かれた居場所であればと思っております。



## 総務大臣表彰を受賞して

京都市右京区 澤田 勉



昨年の10月に東京京王プラザホテルにおいて行政相談委員総務大臣表彰の授賞式が挙行されました。当日は晴天にも恵まれ、平成最後の年に拝受できましたことを心から感謝いたしております。

そして午後から皇居特別拝観までできましたこと、私にとっては忘れられない思い出になりました。今回の受賞は、総務省京都行政監視行政相談センターはもとより行政機関、行政相談委員の先生方、また地域の多くの方のご協力とご支援の賜物であり、深く感謝いたしております。

行政相談委員を拝受して17年になります。当初は行政相談委員の業務自体が分からないまま軽く引き受けたため、相談者がどういった相談に来られるかが不安でした。何事にも経験の浅い未熟者が果たしてお役に立つことができるのか不安に感じておりましたが、経験豊かな諸先輩の先生方に助言を戴きながら、相談者の相談内容をしっかりとよく聞くこと、より相談者の身になって考え整理

すること、行政に対して意見や通知、あるいは相談内容によっては要望書を作成し、関係当局や関係者に連絡すること、自ら出向き担当者に直接お会いし善処をお願いすることなどに心を配ってきました。

そして微力ながら、地域住民の安心安全な生活環境をつくるお手伝いにも関わらせていただいたことにも感謝申し上げます。

また、17年という長年の間にはいろいろな相談事がありましたが、いちばん印象に残っているのは、定例相談に来られた方から礼状が届いたこと、直接御礼を言いたいと定例相談日に来られたことです。委員として多少なりともお役に立てているんだと思うと、今後もこれを機にさらに住民の皆様に身近で信頼される委員を目指して一層勉強していきたいと思っています。

今後とも京都行政監視行政相談センターの皆様、行政相談委員の皆様、ご教示いただきますようお願い申し上げます。

## 「桜を見る会」に招待されて

南丹市 日下部 純子



菜の花が黄色に咲き、山々が眠りから覚め、そろそろ「山笑う」時期になる頃でした。

内閣総理大臣から御招待状が届きました。「桜を見る会」に御夫婦おそろいで御来観くださいますようにとの御案内でした。

「何で私が…」と思いながら、総務省の行政相談委員を委嘱された遠い日のことが思い出されました。

素晴らしい先輩方の行政相談委員としての自覚や働き方を見て、様々なことを学びました。

教育には経験もありましたが行政については少しも知らなかった私でした。京都府内の素晴らしい行政相談委員さんとの出会いや研修の中で、私は私なりに少しずつ人間的に成長していったような気がします。

相談者から学ぶことも多かったです。お役を受けて活動させていただけた「幸せ」を実感しています。新宿御苑の桜は全部古木で立派な花ばかりでした。御招待された華やかな人々と咲き会って……。

青空の下、「こんな素晴らしい時間をありがとう。」とつぶやいた一日でした。

◎ 新宿の「桜見る会」招かれ 総理の言葉 花間に響く 治

◎ 招待の 便り嬉しく東路へ 御苑の桜 凜として咲く 純子



他の御招待者との記念撮影

## 耳を傾けて

京都市伏見区 塩尻 マユミ



この度、令和元年度京都行政監視行政相談センター所長感謝状を5月24日に全体会議の場でいただき、5月28日には瑞宝双光章を東京での伝達式で受章しました。どちらも思いがけないことで、恥ずかしさとまわりの方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

行政相談委員として、定例相談所や総合相談所などでいろいろな方の悩みを聞きました。これまで相談を受ける上で心掛けてきたことは、相談者の思いを誠実に受け止め、共感しながらしっかりと話を聴き、それが行政にどのように関係するかを判断するということ、そして行政に関することだけでなく、最後までしっかり話を聴いてあげることでした。相談者の中には、自分の思いを全て話す間に悩みの内容を自分で整理し、解決への方向を見つける方も多くいらっしゃったように思います。

また、行政相談に来られる方が少なくても、「毎月決まった時間、決まった場所に、誰でも悩みごとを相談できる場所がある」ということ自体が大切なのではないかと思います。

行政相談委員には公平さが求められます。相談者又は行政機関等のいずれの側にもつくことなく、公正で客観的な立場を保つことが必要なのですが、私の場合、つい相談者の側に立ってしまいがちで、いつも長年行政相談委員をされている方にいつもアドバイスをいただきながら勉強させていただいています。他にも、現地調査の必要性や秘密の厳守など、行政相談委員としての大切な行動についても、先輩委員の方々から数多く学ばせていただいています。

分からないことは先輩方だけでなく、京都行政監視行政相談センターの担当者の方にも相談しています。いつも適切なアドバイスや対応をしてくださいます。

まだまだ経験も少なく未熟ですが、これからもみなさんのご指導とご支援をいただきながら、素晴らしい先輩委員の方々のようになりたいと思います。これからもよろしく願いします。

## スリランカの「子どもたち」

京都市西京区 阿蘇 和代



令和元年5月1日、その日を私はスリランカで迎えました。

インド洋に浮かび、「太陽と緑の島」の異名をもつその国、スリランカとの関わりは、17年前の一人旅から始まりました。当時、仕事の合間の休日に訪れたスリランカ！（子供の頃には「セイロン島」と学びました）南国の大自然と、インド洋の水平線に沈む真っ赤な夕日を求めての旅でした。

2002年、初めてコロombo空港に到着したときは、1月上旬でしたが、現地の気温はおよそ30度。汗が流れ落ち、すぐさま半袖の服装に着替えました（それでもこの時期が一年で最もしのぎやすい季節です）。この国の中心部であるコロomboの街を後にして、車で南へ1時間ほど行くと、椰子やバナナの木が出迎えてくれました。さらに進むと、現地の生活感ある風景が少しずつ目に飛び込んでくるようになりました。そこには、発展途上国の姿・暮らしがありました。

裸足で元気よく走りまわる子どもたち、よく見ると色褪せた着衣（Tシャツ）の胸のあたりに「ウルトラマン」の文字が……。古着

として、どこからやってきたのか想像がつかしました。また、デコボコだらけの道を走る車のボディには、日本企業の名前や商品のコマースが印字されており、それが至るところで見受けられ大変驚きました。時間通りに来ない列車は、錆びが目立つ車体で、窓は壊れ、扉はオープンのまま走行……。通常ではありえない状況が、この国では普通でした。

日本で留学経験のある女性にお願いし、子どもたちと交流できる場所を案内してもらいました。現地の施設・孤児院などに行き、たくましく生きる子どもたちと所々で一緒に遊ぶことができました。言葉の壁を乗り越えて通じ合える喜びを実感しました。私は子どもたちから“シンハラ語”を教わり、代わりに“日本流”を教え、折り紙やけん玉と一緒に遊び、いつも時間を忘れ没頭しています。毎回、2～3週間の滞在で帰国しますが、お別れの際には次また会う約束をします。今回も「指きりゲンマン」で約束をしてバイバイしました。

子どもたちとの出会いの旅は、これからも続きます。



## - 退任委員の声 -

### 委員活動を振り返って

京都市右京区 細川 栄子



時世の流れの速さにとまどう今日この頃です。行政相談委員にと声を掛けられ、私にはとても素養もないと思いながらも関わらせていただき、大変良い体験でした。

この間は、日頃の狭い人生経験を改めて考え直した期間となりました。

月に1度の定例相談所などには、毎回、心細く向かっていたものですが、皆様のご協力で勤め続けることができました。ありがとうございました。

相談に来られる方はみなさん、地域の事情をよく把握した上でご意見を持ってこられるので感心しつつも、一方で思考・見解の違いもあり、相談対応は難しいと実感しました。

おかげ様で少し成長できたような気がします。「ボーっと生きていてはいけないナ」と反省しています。

ありがとうございました。

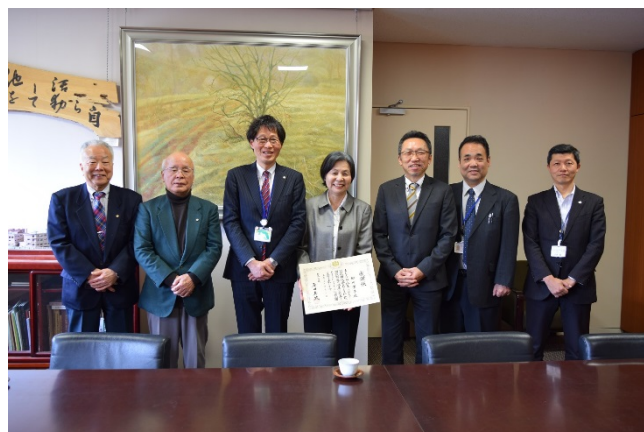
### ～行政相談委員活動の様子～



平成 29 年 10 月 28 日 右京区民ふれあいまつり



平成 28 年度全体会議



平成 31 年 4 月 12 日 感謝状贈呈式

## 委員活動を振り返って

京都市伏見区 津田 信照



行政相談委員として委嘱を受け早6年が経ち、この度定年を迎え、退任に際し総務大臣から感謝状をいただき誠にありがとうございました。

この間、京都行政監視行政相談センター所長様をはじめ職員の皆様、また、京都行政相談委員の皆様から暖かいご指導・ご支援を賜りましたことに対しまして厚く御礼申し上げます。

振り返ってみますと、「行政相談委員」としての知識、経験も無い私に何ができるのかと大変心配でしたが、幸い良き先輩の皆様に出会い、ご指導をいただき微力ながら取り組んでまいりました。

まず、例月の相談事例をみてみますと、本来の「行政相談」とは全く関係の無い事案も多く、当初は幅広い対応に苦慮したのが正直な実感です。しかし、何事も「きく耳を持つ」だけで相談者の心は晴れ、「有難うございました。」と言って笑顔で帰られるお姿が今でも印象に残っています。

また、施策の改善要望事項が実現できたときは共に喜びを分かち合いました。

一方、相談事案の根底には何か改善が必要と思われるケースもありました。

特に、高齢化が一段と進んでいる現在、国や地方の施策に対する苦情や要望も様変わりしてきております。したがって、現行の法令・規則等についても実態に則しているかどうかであり、この点についても考え、委員意見が述べられることは行政相談委員の素晴らしい制度であると思料いたします。

これまで、行政相談委員として「国民の皆様と行政の架け橋として」微力ながらも鋭意努めてまいりました。

今後は、細やかな経験を生かし、地域住民の安全・安心のまちづくり、健康ですこやかな長寿社会を目指し社会福祉活動にも励んでまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様の暖かいご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



平成 31 年 4 月 15 日 感謝状贈呈式

## これからも前向きに

宇治市 浜野 令子



2年間の短い間でしたが、皆様にお世話になりましたことを心より御礼申し上げます。

私事で恐縮ですが、私は50年間働き続けました。実は学生の頃、いろいろ考えた末に「自分の食い扶持は自分で稼ぐ」ことが自分に誠実に生きるうえでより確実なことだと気付き、働き続けることを決めました。

第一次ベビーブーム世代の私は、常に「精一杯頑張る」をモットーに、仕事も子育てもそれなりに頑張ってきたように思います。何事にも前向きに取り組むことにより、仲間や情報が集まりアイデアも生まれ、楽しさやおもしろさも味わうことができました。公務員、財団職員、パートタイマーと50年間働き続けた人生に一区切りを付け、今、時間に追われる生活から解放された「自由」を噛み締めています。

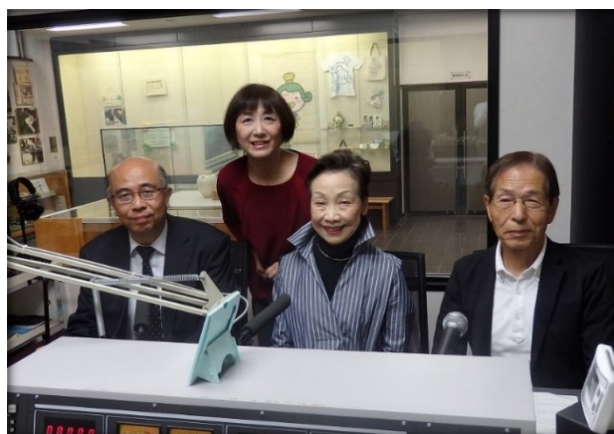
さて、わずか2年間の行政相談委員活動でしたが、災害や介護、年金、高齢者の仕事など、相談者一人ひとりの悩みは、私自身と重なる点も多く（特に女性の場合は当事者として）、仕事から地域の活動を支えようとして

いる私には多くの発見があり、また、経歴や経験の異なる他の行政相談委員からも多くのことを学ばせていただきました。心から感謝しています。

この制度が、地域住民と行政をつなぐ重要な役割を持つことを理解し始めたところでの退任は、申し訳なく思っています。

さて、これからですが、「精一杯頑張る」をリセットして、ゆったり、じっくり生きていくこと、好奇心を失わず感性を磨き、本音で話せる人を大切にして信州でも前向きに頑張っていこうと思っています。大好きなアルプスと蕎麦を楽しみながら…。

皆様、ほんとうにありがとうございました。



FM うじ（平成30年10月11日）

## 委員活動を振り返って

亀岡市 伊藤 正明



3期、6年間、お世話になりました。大過なく委員活動を終えることができ、ホッとしています。と同時に、活発な活動が全くできず、申し訳ない気持ちもあり、複雑な気持ちです。

委員のお話をお受けしたとき「行政相談は教えてもらわなくてもできる」と秘かに思っていました。今から思うと何の根拠もなく、「勘違いの自信」としか言いようがありません。それは現役時代、相談を担当する部署に長期間に亘って在席させていただき、各種相談委員の皆さんと共にいろんな相談に携わった経験からこのような勘違いが生じてきたのだらうと思われま

す。その“自信”が、『勘違い』と感じ始めたのは、行政相談委員になって約1年目頃からです。いろんな研修で、行政監視行政相談センター職員の皆さまや、各地区からの行政相談委員の皆さまの活動内容を聞かせていただく中で、考えが変わっていきました。

行政相談委員は、問題を解決することに止まってはいけない、相談を介して『相談者』の思いと『行政』の思いを繋ぎ、多くの人

が“幸せ”を実感できる社会に近づけるように、その一翼を担うのが一番の使命であることに気づかされました。

そのためにも、各種研修会や合同相談所の開設を始め、出前教室や懇談会などの開設は大変意義があり、これこそが行政相談委員が目指すところではないかと思

います。加えて、亀岡の定例相談は二人の委員が担当しています。相談が無いとき（ほとんど無かったのですが）、相談室では、たわいも無い話を楽しんでいたのですが、もう1人の委員からキラッと光る人生訓をいただき、委員として貴重な研修の場とさせていただきました。

任期を終えた今、何処からか「今さら遅い！」という声が聞こえてきます。せめて今後は、心の片隅にある“複雑な気持ち”を忘れずに、行政相談委員経験者として「相談者」と「行政」の絆を見つめ続けてまいりたいと存じます。

長い間、本当にありがとうございました。



## 委員活動を振り返って

綾部市 木枝 一子



4年間という短い期間でしたが、行政相談委員という大役を無事務めさせていただきましたことは私にとって貴重な経験でした。

国に対する要望や苦情などをお聞きするという役割でしたが、市民の皆様にとっては、国の施策等については身近に感じておられないのか、相談内容は、府や市に対するものや個人の資産に関するものがほとんどでした。

相談内容については、専門的な内容も多く、私の知識では対応に苦慮することもありましたが、行政に関わる相談については、担当部署等に確認したり、担当者に説明に来ていただいたりと、行政の職員さんには大変お世話になりました。

相談をお聞きするに当たっては、できる限り相談者に寄り添い「しっかり聞く」ことを心がけていましたが、不得意な分野も多く、十分にお聞きすることができたかどうか、今になって反省するばかりです。

また、行政相談委員として、各地域に研修等に行かせていただき、経験豊かな多くの委員さん達とお出あいでき、色々なお話を聞かせていただけたことは、私にとって大変勉強

になり、大きな財産となりました。同時に、それぞれの地域で、様々な活動をしておられる委員さんが多く、何事にも熱心に誇りを持って活動されておられるのを見聞きさせていただき、自分自身の活動の未熟さを思い知らされました。

年齢とともに、様々な能力の衰えに抵抗するのは難しいことですが、様々な活動に参画し、多くの人との出会いを大切に、チャレンジし続けることで、元気でその年齢らしく過ごしていけたらと考えています。

そして、行政相談委員として活動させていただいた経験が、地域の中でお役にたてるような活動ができればと思っています。

最後になりましたが、皆様のご健勝と、ますますのご活躍をお祈りいたします。

ありがとうございました。



令和元年 5月17日 感謝状贈呈式

## 思い出多い16年でした・・深く感謝

京丹後市 吉岡 秀巳



京都の各委員さん、センター役職員の皆さん、今日までの16年間大変お世話になり、また、ご指導いただきました。人生前半の現職の仕事から解放され、時の町長から行政相談委員の声を掛けていただいたときは62歳と元気でしたし、残りの後半の行き方が大切であると思っていましたので、深く考えることなく大役を引き受けて以来、行政機関と市民の間で数多くの相談ごとに関わり、「相談によりもっと良くなる」ことを目標に努力してきました。

こうした積み重ねの中で、市民の皆さんに行政相談制度や委員活動に少しでも理解を頂いて、信頼につながっているとすれば、望外の喜びであります。

退任しました今、この間の活動について少し振り返ってみますと、地方に在住する人達は国政に関する相談より、身近な行政機関への苦情、意見等が多いものでしたが、相談ごとの範囲は民事を含め非常に広範囲にわたりました。特に、①道路、交通に関するインフラ整備等への苦情相談が多く、国道敷地内の営業活動や看板類、のぼり旗、また見えに

くい信号機とか、横断歩道、歩道橋の要望等、その都度、現地確認して関係行政機関へ対応策をお願いし改善されてきたことは喜びでした。

～事例「見えにくい信号機」～

【図1】30m 手前



近づくとよく見えるが…

【図2】60m 手前



遠くからは見えにくい！！

委員が対応に当たり、無事改善されました。

②として、委員在任中の中間頃から、全国的に「出前教室」開催の動きが見られ、京都では先輩の藤井委員の活動がすばらしく、私も義務感に駆られたり、京都行政評価事務所（当時）の熱心の支援に頼る中で、町内の小学校で6年間頑張って開催させていただきました。その中では子供たちの多様な、現場からの指摘や要望アンケートが出され、例えば毎日の通学路上の危険箇所の指摘、ゴミの



ぽい捨て苦情から犬のフン公害まで、行政の素早い対応や努力を頂いたことは、正に「子供たちの声が町を変える」一つの出来事であり、委員として少しはお役にたてたのではないかと考えています。



～出前教室の様子～

- ・平成 27 年 12 月 10 日  
京丹後市立大宮小学校（右上）
- ・平成 28 年 12 月 2 日  
京丹後市立大宮南小学校（左下）

思い出の③として、平成 25 年当時総務省が電波による行政相談や委員活動の PR を進められており、私も地元 FM たんごとの人脈を頼り、ラジオでの PR をと行政評価事務所の鈴木所長と地元中山市長との対談をはじめとして、毎年委員も交えて FM ラジオでの PR 出演が続いていることや、京都行政相談委員協議会の立ち上げたホームページ委員会の委員として当初から参加させていただいたことなど、原点は「相談所から一歩外へ」の京都

行動計画が提起された平成 25 年度当時の評価事務所の力強い支援、このことが私にとって大きな原動力となりました。

本年 3 月に退任しましたが、常々、「季刊行政相談」誌での全国の同じ仲間の活動内容に励まされ、また、府内の委員さんたちとの研修等での交流を通して、楽しく 16 年が過ぎましたことに心から感謝申し上げます。

有難うございました。

## 委員活動を振り返って

京丹後市 中村 賢一



平成23年4月に行政相談委員の委嘱をお受けしてから8年間、本年3月末をもって退任させていただきました。

この間、先輩委員のアドバイスや京都行政監視行政相談センターの皆様からご指導いただき、また、市役所担当課のご支援を賜りましたことを心から感謝いたしますとともに、厚くお礼申し上げます。

相談事案は、国の行政施策に対する苦情や意見・要望は少なく、府や市の事務に係るものが大半で多岐に渡りました。相談に当たっては、しっかりと聴き、問題点を正確に把握して解決の方向を探るよう心掛けてきましたが、必ずしも満足していただける結果にならなかったケースもありました。行政相談委員としての経験は、私にとって貴重な財産になったと感謝しています。

思い出に残る相談事案としては、5年前、地元の区で取り組んでいたが解決できなかったという“空き家の解体を求めるもの”でした。「市内の府道沿いに老朽化した空き家があるが、自動車や通学の高校生など交通量も

多く、落下物等で事故になる危険性が高いので解体できないか」という内容です。

現地を確認すると、屋根の一部は陥落し、棟瓦が落下しそうな深刻な状況でした。市や区で調査した結果、この家屋は昭和2年建築の木造で、10年前から空き家となっており、所有者は市外に居住されていることが判明。早速、所有者本人と連絡を取り、もし事故でも起きれば賠償責任が発生することを説明し理解を求め、早急に善処してほしいと依頼したところ、幸いにも親戚から資金援助が得られ、数か月後に解体が完了しました。資金面で悩んでおられた所有者はもとより、後押しをさせていただいた私も安堵した事案でした。

少子高齢化が進み、全国で空き家が問題視される中、平成26年11月に成立した「空き家対策特別措置法」を受けて、市では27年度に実態調査を実施し755件の空き家を把握。更に、29年度には300件以上増加し、1,089件の空き家を確認しています。

市は「空き家等対策計画」（平成29年度～32年度）を策定し、空き家等の適切な管





(実際の写真)



解体され、きれいさっぱり  
無くなりました。

理、危険な状況の解消などの対策を行うとともに、空き家等の活用を促進するとしていますが、現状は、倒壊等の危険性のある空き家が123件あり、所有者等への事前指導を実施するなど一定の前進はみられるものの、今後も増え続ける「空き家」には、なお多くの課題があるようです。

最後に、行政相談委員の皆様の益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

～行政相談委員活動の様子～

FM たんご出演 (平成26年10月14日)



京丹後市合同行政相談所

(平成28年10月17日)



## 委員活動を振り返って

京丹後市 後藤 久和



私は少し早めに退職し、自分が仕事を通して言ってきた「自分の集落での地域づくりの実践」がしたいと思い、準備に取りかかり始めました。そんな矢先、妻が病に倒れ 54 歳の若さで他界しました。

パートナーを失い、生活スタイルの再検討が迫られる中で、京丹後市から行政相談委員の就任について、依頼がありました。

- ◆ ボランティアでやる以上、自分自身にもプラスになり、とにかく楽しくなければ続きません。とりあえず 2 年間のスパンで、毎月第 1 火曜日の定例相談とこれに付随する活動を生活サイクルの柱にし、組み立てていきました。今までの経験から、「何事も経験が大事」と思い、活動が始まりました。

- ◆ 行政相談委員の特徴は、4 条意見を出せることで、これをやりたいと思いました。

郵便の現金書留封筒表面に添付されている複写用紙の改善、グラウンド整備に関わる開発行為の許可規準について、民生児童委員の活動報告書の簡略化などを提案しました。

改善に向けて生かされたもの、そうでないものなど様々でした。

- ◆ 今、プラスチックゴミによる海洋汚染が問題になっています。昨年、台風や大雨で流されてくる大量のプラスチック類、刈草、ロープ等が船引場に打ち上げられ、行政で対応してほしいとの相談がありました。

結論は、予算、分別、他の事例などから、次に水かさが増したときには「海に押し返せ」ということでした。

- ◆ 行政相談委員、民生児童委員、人権擁護委員、社協など様々な組織や人たちが、困りごと相談に対応しています。以前に比べるとインターネットの発達や市町村等の相談体制も充実してきました。

行政の効率化を図る視点から、制度の統合をしても良いのではないかと思います。



平成 31 年 4 月 9 日 感謝状贈呈式



## おくやみ

去る令和元年5月17日、南丹地区の行政相談委員として活動いただいております麻田勝司様のご逝去されました。享年81歳でした。

麻田勝司様は平成5年4月に委嘱を受け、昨年3月に定年により退任されるまでの間、26年にわたり行政相談委員を務められました。南丹市における定例相談所の開設のほか、老人クラブ員等を対象に行政相談懇談会を開催するなど、地域住民からの相談に積極的に応じられました。取り扱われた相談事案は約1,000件にのぼり、改善に至った事例も数多く残されています。

こうした功績により、全国行政相談委員連合協議会会長表彰、総務大臣表彰、瑞宝双光章など、様々な輝かしい表彰をお受けになりました。また、平成25年度からは京都行政相談委員協議会の会長を務められ、協議会の中心的な役割を果たされました。

謹んでお悔やみを申し上げますとともに、心より哀悼の誠を捧げます。

### ～行政相談委員当時の様子～



京都行政相談委員協議会総会  
(平成26年5月20日)



行政相談懇談会 (平成27年1月13日)



第31回京都行政苦情救済推進会議  
(平成29年1月17日)



瑞宝双光章受章記念祝賀会  
(平成27年9月13日)

## - 平成 30 年度における主な行事 -

〈年間の行事一覧〉

日付	行事
4月9日	新任委員委嘱状交付式、業務説明会 (京都地方合同庁舎)
4月27日	第1回地区代表者会議 (京都地方合同庁舎)
5月25日	全体会議 (メルパルク京都)
5月31日	亀岡合同行政相談所 (亀岡市役所市民ホール)
6月26日	第1部研修 (近畿管区行政評価局)
7月24日	第2部研修 (近畿管区行政評価局)
8月31日	中丹・丹後地区会議 (京丹後市峰山地域公民館)
9月5日	洛南・山城南地区会議 (大山崎町ふるさとセンター)
9月7日	京都・南丹地区会議 (京都地方合同庁舎)
10月9日	向日合同行政相談所 (向日市福社会館)
10月10日	高の原合同行政相談所 (イオンモール高の原)
10月16日	京都合同行政相談所 (ゼスト御池)
10月18日	亀岡合同行政相談所 (亀岡市役所市民ホール)
10月19日	宮津合同行政相談所 (みやづ歴史の館)
10月22日	京丹後合同行政相談所 (京丹後市総合福祉センター)
10月26日	長岡京合同行政相談所 (長岡京市中央公民館)
11月8日	山科合同行政相談所 (山科区役所大会議室)
11月13日	南丹合同行政相談所 (京都府南丹広域振興局園部総合庁舎)
11月19日	城陽合同行政相談所 (城陽市立福祉センター)
1月31日	集合研修 (キャンパスプラザ京都)
3月18日	第2回地区代表者会議、地区リーダー養成 研修 (京都地方合同庁舎)



新任委員委嘱状交付式



全体会議



合同行政相談所(亀岡)



集合研修



## - 委員活動の紹介 -

### (1) 行政相談懇談会

行政相談懇談会を計7回開催し、行政相談制度の周知及び関係機関との意見交換等を行いました。



〈行政相談懇談会の開催一覧〉

日付	場所
7月5日	京都市左京区役所
9月26日	京都市北区役所
2月8日	ひと・まち交流会館（京都市下京区）
3月6日	南丹市児童老人会館
3月12日	社会福祉総合センター（京都市伏見区）
3月19日	京都テルサ（京都市南区）
3月26日	京都市北区役所



児童老人会館



社会福祉総合センター

### (2) 出前教室

府内の市立小学校や大学など10か所において、行政相談に関する出前教室を開催しました。



〈出前教室の開催一覧〉

日付	場所
6月28日	京都市立紫野小学校
9月6日	京都市立朱雀第一小学校
12月4日	福知山公立大学
12月6日	京都府立淇陽学校（南丹市）
1月30日	京都市立大藪小学校
2月4日	京都市立下鴨小学校
2月5日	京都市立待鳳小学校
2月18日	京都市立羽束師小学校
2月22日	京都市立岩倉北小学校
3月8日	京都市立朱雀第七小学校



朱雀第一小学校



福知山公立大学



淇陽学校



大藪小学校

### (3) 市民まつり等での広報活動

市民まつり等で行政相談のブースを設置し、広報物品の配布等により、行政相談についての広報活動を行いました。

〈参加した市民まつり等一覧〉

日付	行事	場所
5月27日	北区民ふれあいまつり	清明高校（京都市北区）
6月24日	京田辺ふれあい夢フェスタ	京田辺市立中央公民館（京田辺市）
9月2日	伏見ふれあいプラザ	京都パルスプラザ（京都市伏見区）
10月21日	深草ふれあいプラザ	藤森神社（京都市伏見区）
10月27日	右京ふれあいフェスティバル	安井公園（京都市右京区）
10月28日	中京区民ふれあいまつり	中京中学校（京都市中京区）
10月28日	上京区民ふれあいまつり	二条城北小学校（京都市上京区）
11月4日	宇治福祉まつり	宇治市生涯学習センター
11月11日	広沢ふれあいまつり	広沢小学校（京都市右京区）
11月11日	木の津まつり	木津川市中央体育館
11月17日	西京区民ふれあいまつり	ホテル京都エミナース（京都市西京区）
11月18日	精華まつり	けいはんな記念公園（精華町）
11月23日	むら生き生きまつり	南山城村総合グラウンド
12月3日	東山区民ふれあいまつり	東山開晴館（京都市東山区）

※ 7月29日に予定されていた「左京区民ふれあいまつり」は荒天により中止。





上京区民ふれあいまつり



精華まつり



木の津まつり



右京区民ふれあいフェスティバル



東山区民ふれあいひろば

#### (4) その他の広報活動

行政相談週間に合わせ、街頭における広報グッズの配布やコミュニティ FM への出演などに携わり、行政相談の PR 活動を行いました。

#### 〈その他の広報活動一覧〉

日付	活動内容
9月25日	FM たんば
9月28日	FM いかる
10月2日	FM たんご
10月2日	FM まいづる
10月4日	JR 二条駅前街頭 PR
10月11日	FM うじ
10月15日	イオン福知山前街頭 PR



FM たんば



FM まいづる



JR 二条駅前街頭 PR 活動



## - 委員処理事案の紹介 -

簡単ではございますが、行政相談委員が受け、処理された相談事案を一部ご紹介します。

### ◇ 転落防止のためのガードレールが設置されました。

福知山市担当 井上 正暉 委員


相談内容
<p>福知山市大呂地内の道路に転落防止用の柵を設置してほしい。すぐ横が崖になっており、転落の危険がある。</p>




対応結果
<p>委員が土木事務所に連絡し、対応を依頼したところ、ガードレールが設置された。</p>


### ◇ 安全のための道路標識が新設されました。

京都市伏見区担当 津田 信照 委員

相談内容
<p>伏見区羽束師菱川町の府道水垂上桂線は車両交通量が多いため、支線に「止まれ」の標識を設置してほしい。</p>





対応結果
<p>委員が向日町警察署に対し要望を伝えたところ、「止まれ」の白線表示と赤色標識が新設された。</p>




◇ 道路にはみ出している庭木が除去されました。

大山崎町担当 中西 晴子 委員

相談内容
<p>庭の植木が前面道路にはみ出している。狭い道なので、自動車とすれ違うときに木にぶつかりそうになるなど、何かと危険なので、剪定してほしい。</p>




対応結果
<p>委員がこの家の居住者に事情を説明し、庭木の剪定を依頼したところ、刈り込みが行われ、安全に通行できるようになった。</p>


◇ 外開きの門が内開きに改修されました。

大山崎町担当 中西 晴子 委員


相談内容
<p>アパートの門が外開きであり、放っておくと道路にせり出してしまう。自転車で走行するときぶつかる可能性もあるため、対応をお願いしたい。</p>




対応結果
<p>委員が町の経済環境課に対し、門が外開きにならないよう所有者に伝えてほしいと依頼したところ、要望が聞き入れられ、門が内開きに改修された。</p>


◇ 市道に横断歩道が新設されました。

京丹後市担当 吉岡 秀巳 委員

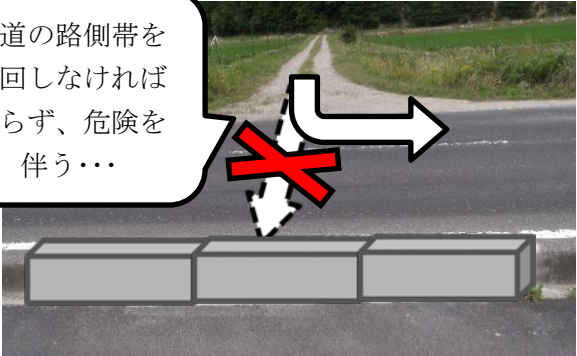
相談内容
京丹後市大宮町の大宮北保育所周辺の市道に横断歩道を設置してほしい。この場所は周辺に小学校や幼稚園等があるにもかかわらず、約1kmにわたり横断歩道が無い。





対応結果
委員が市の道路管理課及び丹後警察署と協議した結果、横断歩道が設置されることとなった。また同時に消えかかっていた白線がきれいに引き直されるなどの措置も行われた。


◇ 歩道の縁石が取り外され、通行しやすくなりました。

京丹後市担当 辻田 壽男 委員

相談内容
永留丸山線から市道永留一分線の歩道へ一輪車や自転車等で出入りする際、縁石に切れ目がないため、約25m手前の切込みがある所まで車道の路肩を歩かなければならない。




対応結果
委員が現地を確認の上、京丹後市に状況と改善の必要性を伝えた結果、歩道の縁石の一部が取り外され、歩行者が通行しやすくなった。




◇ 安全柵が設置されました。

京都市右京区担当 澤田 勉 委員

相談内容

右京区嵯峨広沢南野町にある道路は横が田畑となっており、高低差が約2メートルある。そのため通行時に転落する危険性がある。早急に落下防止用のフェンスを設置してほしい。



対応結果

委員が市の土木事務所に安全柵設置についての要望書を提出し、検討を依頼したところ、道路整備工事が執り行われ、その後安全柵の新設が実現した。



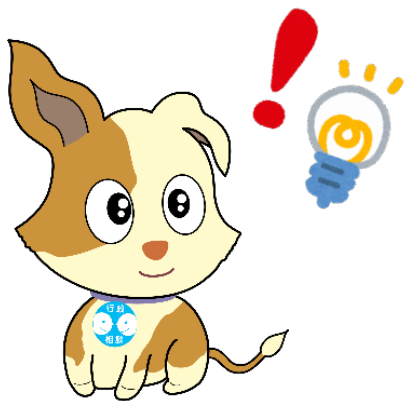
◇ 電柱に街灯が新設されました。

京都市伏見区担当 富松 勝子、津田 信照 委員

相談内容
伏見区小豆屋町の住宅街に街灯を設置してほしい。この場所は夜間非常に暗く、防犯上の危険性も潜んでいるので、必要性は高いと思う。



対応結果
委員が京都市の土木事務所に対し、当該場所を調査するよう依頼し、担当者が関西電力と調整した結果、電柱に街灯が新設された。

◇ 道路標識が立て直されました。

京丹後市担当 吉岡 秀巳 委員

相談内容
府道 657 号明田京丹後大宮停車場線の S 字カーブ頂上付近において、道路標識が倒れ、側溝に落ちている。そのまま放置しては危険であるので、修復し立て直すか、あるいは撤去してほしい。




対応結果
委員が府の土木事務所に早急な対応を依頼したところ、道路標識が立て直された。




## 転出のあいさつ

### 京都府内の行政相談委員の皆様へ

前 行政監視行政相談課長 柳木 浩之  
(現 近畿管区行政評価局 第3評価監視官)

お久しぶりでございます。今年3月まで京都センターでお世話になっておりました柳木でございます。平成29年4月に前任の松浦さん（現在は岡山センターの所長です）の後を受けて着任し、委員の皆様「私は27年ぶりに京都に帰って参りました。」とあいさつさせていただいたことが昨日のここのように思い出されます。京都の事務所は、西洞院御池から西ノ京に移転し、周囲の環境も一変しておりましたが、委員の皆様の暖かさは何も変わっていないように感じられました。

行政相談課長として勤務させていただいた3年間は、本当に中身の濃い充実したものでした。市町村のお祭りで特設相談ブースを開設し、委員の皆様と風船を膨らませたり、グッズ配りをしたこと、地域FM局の番組出演をしたこと、各地区主催の自主研修会に参加したこと、京都市担当委員の皆様とリサーチウォーキングに参加したこと等、数え上げれば切がありません。特にこの3年間で京都府内15市10町1村すべてを訪問し、それぞれの地域を担当される委員の皆様と直にお話させて頂き、またそれぞれの役場の担当者とも意見交換ができたことは私の一生の財産となりました。

27年ぶりに京都で行政相談業務をさせていただき、総務省の行う行政相談業務を取り巻く環境が厳しくなってしまった（以前は、国の行政機関が関係する本来の行政相談事案が現在の3倍以上はございました。）ことに愕然としながらも、何とか委員の皆様とともに行政相談制度をPRすることに少しでも力を尽くせたかなと思っております。

最後になりましたが、京都府内の行政相談委員の皆様、本当に3年間お世話になりました。ありがとうございます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



伏見区民ふれあいまつり 2018



平成30年度 高の原合同行政相談所

## 現職員からのひとこと



### 行政監視行政相談課長 黒川 慎治

4月1日付けで大阪から転勤になりました。自宅のある大阪市内からの通勤は3回乗り換えがあります。また、JR円町駅から庁舎までも距離があるため、スマホの万歩計では、毎日、8千から1万歩が表示されています。

そのおかげだと思いますが、4月から体重が2~3kg減りました。見かけはまったく変わりませんが、内々喜んでます。この調子でいけば、1年後には・・・!?

これからも健康に気を付けて、委員の皆様と相談活動に励みたいと思います。よろしくお願ひします。

### 委員係長 池田 麻衣子

昨年度から引き続き、委員の皆様には大変お世話になりありがとうございます。

さて、ここ数年、山岳レース、アドベンチャーレースにはまっています。と言っても、実際に参加するのではなく、テレビでの視聴です・・・別次元の気力、体力で極限状態の中進み続ける選手たちを見ると感動し、思わず自分も走りたくなる気持ちが起こるのですが、現実を見つめて、ゆっくり山を散策するにとどめています。でも、小さなことでも何かにチャレンジしていきたいと思っています。

### 業務係長 吉留 麻子

今年は元号も新たに「令和」となり、改元を祝うセールの海外旅行に目が留まり、6月に親友と台湾に行ってきました。

台湾でひとつ学んだことは、中国語では「老婆」の意味が日本とは違うことです。タクシーで観光名所の九份に向かう途中、スマホをカーナビとして立てかけて使っていた運転手さんに「老婆」と名付けた方から、電話がかかってきました。「老婆」という文字を見て驚いていると、同乗していた台湾の知人に「老婆」とは奥さんのことで、「老」には日本語の「孝」の上半分にも使われているが、「敬う」意味があると教えてくれました。

日本でも「老」のイメージが良くなることを願った瞬間でした。

### 行政相談官 谷尻 清次

委員の皆様方におかれましては、ご多忙の中、行政相談委員として各種の活動を行っていただき、有難く、また頭の下る思いです。

まもなく行政相談委員制度60周年を迎え、私が幼少のころから、多くの先達、先輩委員が活躍されていたと思うと、総務省職員として感無量です。

さて、私事ではありますが、再任用も4年目に入り時間の使い方に慣れたような慣れないような日々を過ごしております。私の住んでいる亀岡市には、桂川（淀川や保津川の上流）が流れており、鮎や鯉、うなぎなどが生息しています。この原稿を書いている今、『土用の丑』を控えコンビニや飲食店の店頭においしそうな「うなぎ重」のポスターが貼られています。桂川のうなぎも数が減ったのか採る人が少なくなったのか、その姿を見かけることが少なくなりました。

近年、うなぎの稚魚の収穫量が激減し絶滅危惧種になるのではないかといわれ、代替として「ナマズの蒲焼」が話題に上っています。幸いなことに、私の腕前でもナマズを採ることができますので、毎年のようにナマズをいただいております。

### 係員 藤井 知

今年度も引き続きよろしくお願ひいたします。

さて知人いわく、私は筋金入りの晴れ男だそうです。旅行やイベント行事に私がいると、雨天の予報が覆るのだとか。つい先日もお出かけの際、降水確率90%の雨雲を撃破してしまいました。学生時代は3年連続で文化祭の日に雨を降らせ、雨男として生きていくことを覚悟しましたが、人は意外と変わるものですね。晴れ男パワーで、困っている人の心のモヤモヤも晴らすことができればよいのですが・・・試練の1年です。

### 行政相談補助職員 森島 尚志

3年ぶりに京都に戻ってきました。おかげさまで6度目の京都勤務です。

前任地は兵庫事務所で、往復3時間以上の通勤地獄でした。めちゃくちゃ疲れました。やっと解放されて、朝夕の時間のやりくりに余裕が出てきました。

今年度は主に相談の受付・処理と総合行政相談所の運営を担当させていただきます。

日頃相談を受けていて、相談員としてまだまだ足りない点ばかりですが、日々業務に精進して参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 主任行政相談官 森川 竜城

来春、国家公務員になることを目指す人の官庁訪問が本格化、当センターの上局・近畿管区局も業務説明会を開催し、幸い大勢の学生さんらの来場があったようですが、それでも人事の担当者曰く「意中の人を射止めるのは大変」なのだそうです。本年度は行政相談委員も委嘱替えの年で小職も新規委嘱の委員さんが開催される相談所を訪問。どこも相談者に親切丁寧に対応していただき、頭の下がる思いでした。末永く宜しくお願ひ致します。

### 技官 村尾 芳昭

委員の皆様、こんにちは、技官の村尾でございます。

日ごろから、委員の皆様には大変お世話になりありがとうございます。

私事になりますが、先日、子供のスマートフォンが故障したため子供と一緒にスマホ（iPhoneXR）に買い換えることになりました。メカ音痴の私が今更ながらスマホデビューです。子供にはやっと現代人になったね、と言われました。家族でLINEとやらをするとうテレビ電話も無料でできる便利なアプリがあるそうです。使いこなせるのはいつになるやら、まだまだわからないことだらけで教えてもらってもちんぷんかんぷん、時代に取り残されたようです。人生いくつになっても努力、勉強です。宜しくお願ひいたします。

### 調査員 長畑 真季

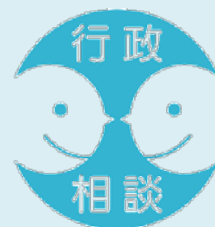
調査員の長畑と申します。

京都は、パン屋さんが多く、観光客が大きなスーツケースを引いて京都駅で行き交っているのが印象的です。

また、京都の百貨店やおみやげ処にたまに帰りに立ち寄って御菓子を買うのが唯一の楽しみです。

仕事では、温かい職員の方と行政相談委員の方々にご指導いただき頑張っていく所存でございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## ～編集後記～



行政相談委員機関誌「京都」第48号をお届けします。

委員の皆様には、ご多用の中本号へのご寄稿を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、今年の4月で「平成」の時代が終わり、新元号「令和」の時代が幕を開けました。この「令和」という言葉には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているようです。争いや災いの無い穏やかな時代、多彩なひと・ものが育まれる時代になることを期待したいものです。

また生まれ育つといえば、行政相談のマスコットキャラクター「キクーン」が1歳を迎えました。知名度はまだまだ低いですが、まつりなどで小さなお子さんに紹介すると「かわいい！」と言ってもらえることもしばしばあり、親心ながら嬉しく思います。いずれは熊のような容姿の御方や梨の妖精様のように、全国的な人気者に育ててほしいと願っております。どうぞご最員にさせていただけると幸いです。

最後になりましたが、委員の皆様が健康に留意していただき、いっそうご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

### 行政相談委員機関誌「京都」No.48

*Organ for the Administrative Counselors "KYOTO" No.48*

令和元年8月発行

編集発行 総務省 京都行政監視行政相談センター 行政監視行政相談課

住所 〒604-8482  
京都市中京区西ノ京笠殿町 38 京都地方合同庁舎4階

電話 075-802-1140(代表)  
075-802-1188(行政監視行政相談課連絡用)  
075-802-1100(行政苦情 110 番)

F A X 075-802-1180

メール [kyoto30@soumu.go.jp](mailto:kyoto30@soumu.go.jp)

ホームページ <http://www.soumu.go.jp/kanku/kinki/kyoto.html>

総務省行政相談センター

まぐみみ京都





再生紙を使用しています